

フィルム・エンキャプシュレーション

一枚物の資料を不活性のポリエステルフィルムで両面から挟んで封入し、資料を保護する方法です。ポリエステルフィルム封入法とも呼ばれます。

取り扱いによる損傷から資料を守ることができると同時に、外界から遮断されることで、資料の劣化を遅らせることも期待できます。しかし、封入する資料が酸性紙の場合、内部で発生する酸性物質によって、劣化がより進行するおそれがあります。そのため、酸性紙の資料については脱酸性化処置を行ってから封入します。



そのまま閲覧や複写ができ、必要に応じてフィルムから取り出すこともできます。

封入方法には、超音波や熱溶着、両面テープなどの方法があります。都立図書館では、左の写真のように超音波ウェルダーでの溶着によって封入していますが、以下では、特別な装置を必要としない両面テープによる方法を紹介します。

手順

1、両面テープをフィルムに貼る

ポリエステルフィルム（都立図書館では、75ミクロンのものを使用）の上に資料を置き、資料から1cm程度離して周りに両面テープ（長期保存する場合は無酸性のものを使用）を貼る。



2、フィルムをかぶせる

両面テープの剥離紙を剥がさず、もう一枚のフィルムを被せて、重しを載せて動かないようにする。



3、一辺を接着する

そのまま、一辺のみ両面テープの剥離紙を剥がして接着する。



4、空気を抜く

フィルムを傷つけないように柔らかい布などで擦り、空気を抜く。



5、残りを接着する

残りの三辺を接着し、余分なフィルムを切り落とす。

